



志津川湾の眺望は宿の自慢のひとつ。露天風呂では、絶景を眺めながら湯につかりたい。

## 震災の教訓を語り継ぎ、復興に貢献

### 南三陸 ホテル観洋



1: 客室の多くがオーシャンビュー。窓の外には太平洋の眺望が広がる。海から昇る朝日を部屋から見られるのもこの宿の楽しみ。  
2: 地元産の海の幸をふんだんに使った料理の一例。夏のウニやホヤ、冬のイクラやカキなど、旬の味覚を心待ちにする常連客も多いという。

宮城県南三陸町。東日本大震災で大きな被害を受けた場所として、この名を記憶している人も多いだろう。津波により8割が流失したという町の中心からわずか2キロメートルほどの、太平洋を見渡す高台に「南三陸 ホテル観洋」は立つ。以前から眺望や料理に定評があったが、震災の後は復興支援に力を注いできたことでもその名前を知られるようになった。

震災直後の混乱が少し落ち着くと、被災者600名の二次避難所として客室を提供し、ボランティアや医療団体の活動拠点としても機能。各種イベントでは被災者を勇気づけ、無料巡回バスや児童への学習支援、現在も続けている高齢者への温泉の無料提供など支援活動は枚挙にいとまがない。

現在、町の再建の目途が立ち始めたとはいえ、ホテルから一歩出れば、あちこちに震災の爪痕が残っている。震災の記憶を風化させないためにと毎朝開催している「語り部バスツアー」には、これまで延べ30万人以上が参加。町を訪れる人々に震災当時の様子と現状を伝える一助となっている。また、地域のよさをあらためて見直そうとする動きのなかで、ホヤやタコなど新しい名物も生まれつつあるという。旬を感じる地元産の海の幸。震災を経て、滞るする楽しみが増えたことは間違いなさそうだ。



語り部バスツアーでは被災したスタッフが当時の様子を語ってくれる。大人500円(税込)。

#### ならではのおもてなし



女将 阿部憲子氏

千年に一度の災害は  
千年に一度の学びの場

震災では多くのことを学びました。その記憶を風化させないことが我々の役目。この教訓をより多くの人に伝えられるよう、いまでも講演などで当時の体験をお話しさせていただいています。南三陸は海の幸が豊富な土地。旬の魚介類を取り揃えて、皆様のお越しをお待ちしています。

☎0226-46-2442

宮城県本吉郡南三陸町黒崎99-17

🚗三陸自動車道桃生津山ICから約20分

🚗東北新幹線仙台駅から宮城交通高速バス気仙沼行きで約1時間40分

(仙台駅から宿泊者限定無料シャトルバスもあり。要予約)

おひとり様1泊2食付10,000円～

日帰り入浴プラン：大人820円(税込)、11:00AM～9:00PM

<http://www.mkanyo.jp/>



「ペア宿泊券」を1組2名様に差しあげます。  
→詳しくは72・73ページをご覧ください。